

令和7年度 第2回（11月）大磯町議会 議会報告会 町民からの「町政に対する意見・要望・提言」

【大磯港の砂利について】

- 以前から砂利港による健康被害について訴えてきた。有害物質が含まれている土を運び入れているのではないか。町民が安心して暮らせるよう、優先的に対策に取り組んでほしい。
- 町は砂利港に防護壁を設置したが砂は相変わらず飛散して積もっている。どれくらいの砂が空気中に飛散しているのか。神奈川県は業者から年間3千万円を受け取っていると聞くが、それを使って町にもっと被害防止対策に取り組んでほしい。
- 砂利があったら、災害時に緊急物資を運搬する際、港がスムーズに使えなくなる。地震等で道路等のインフラが使えなくなった場合、海からも物資がすぐに搬入できないとなると大きな被害につながる。

【いじめ問題について】

- いじめ問題について、早くに解決してほしい。
- いじめ問題について、子どもたちの問題は子どもたちで解決させるようにしたらどうか。

【まちづくりについて】

- 大磯町の人口が増加しない原因の一つに、近隣商業地域に人が行き交う様子がないこと。まちの活性化に向け若い人たちを呼び込むため、近隣商業地域だけでも高さ制限を撤廃し、1階部分をテナントとするマンション建設など、大手デベロッパーを誘致したらどうか。
- （開発の財源はデベロッパー）マンション建設からの収益（固定資産税等）を、給食の無償化や地域交通など住民サービスに還元すると良い。
- 高さのあるマンションなどを建てるることは防災にもつながる。現在中南信用金庫が津波避難所となっているが、夜間や土日は閉まっているため、サンダーズホームまで避難しなければならない。しかし年配者は駅向こうまではいけない。
- 下町は道も狭く空き家も多い。どうにかしないと過疎地になってしまう。大手の資本を使って、防災、活性化の工夫をしてほしい。反対意見があるなら、しっかり議論してほしい。
- まちをつくる際、道路、下水道、公園を作らなくてはならないが、駅周辺には公園がない。公園は若い人たちとのコミュニケーションの場となる。
- 町内の住環境について、戸建て中心で、調整区域が多いことから若年層の定住を促しくい。また、若年層の所得向上につながる施策が必要である。
- 空き家対策の担当者が少ないので、なかなか進まないのではないか。
- 空き家活用にもっと力を注いでほしい。

【新庁舎整備について】

- 新庁舎整備で 40 億円も増えた議論がみえない。
- 2040 年には町民が 3000 人減る。金利が心配。無理に無理を重ねる必要はないのでは。
- 新庁舎整備について、スケジュールや工事費などは、その後変更はないか。
- 物価上昇に伴い、建設のための資材費も値上がりし、それによって工事費が増額することはないか。町の借金が増えることで町民税を増額するのではないか。
- 建設中の駐車場はどうなるのか。県営駐車場は有料か。

【河川・下水道について】

- 東町地内での約 10cm の浸水や、金目川との接続部における逆流リスクから、逆流防止弁の設置を要望する。
- 三沢川では、過去に嵩上げを行ったにもかかわらず一度溢水した経緯がある。増水時の水位に合わせた更なる改良が必要ではないか。
- 川尻公園が水没した際の対応も踏まえ、一本海へ直接抜く新たな排水経路の検討が必要ではないか。

【富士見地区の公共交通について】

- 富士見地区公共交通について小学生の人数は周辺地域を含め約 30 名であるが、都市交通の路線は令和 8 年度秋に廃止見込みであり、将来的な交通手段の確保が大きな懸念となっている。また、富士見地区は独居高齢者が増える中、今後 5~10 年で地域の移動手段が大幅に失われる可能性がある。
- 富士見地区のバスの問題について、来年路線バスが廃止されると聞く。その後、
- 富士見地区の交通がどうなるかとても不安。
- 富士見地区の路線バス廃止について若い人がいる世帯は良いが、高齢者や独居も多く、通院や買い物などに困ると思う。
- 富士見地区の交通手段を無くさないというが、何も案が出てこないと不安。安心するためにも計画 を早く進めてほしい。
- 富士見地区の夜間のバスが減便になったことでタクシー券の利用ができるが、それを知らない人もいる。しっかり周知してほしい。
- 徳洲会病院の送迎バスについて大磯駅、二宮駅から無料のシャトルバスが出ているが、これを地域交通に使えないか。

【富士見地区について】

- 令和 6 年 8 月の土砂崩れによりバス路線が一時通行不能となった事例から、災害時の交通遮断・土砂災害への脆弱性が心配である。
- 山林や農地が多く、私有地が多い地形的条件も踏まえ、土地開発公社による買い上げと擁壁整備など抜本的対策や、国の「国土強靭化」政策を活用した財源確保が望まれる。

【鳥獣対策について】

- 鳥獣被害対策として二宮町では、民家周辺への柵設置支援が進んでいる。単発的な防護や捕獲に依存する対症療法では限界があるため、根本的な原因に踏み込む必要がある。
- 鳥獣の死亡個体の処理を含め専門的な体制が必要であり、被害が生じた際には、住民が確実に役場へ申告し、状況を共有できる仕組みを強化すべきである。

【子育て支援について】

- 少子化対策について、子育て世帯の支援だけでなく、これから子どもを産む世代をどう増やすかという視点が重要である。
- 結婚手当・出産手当といった経済的支援策を求める声に加え、共働き世帯が増加する中で、学童保育の充実など仕事と子育ての両立支援が必要である。
- 高校・大学までの無償化の要望など教育費負担の軽減が求められている。
- 子育て支援だけでなく、働く世代のことも考えてほしい。

【携帯電話基地局について】

- 携帯電話基地局設置に関する町独自の条例化の取り組みについて、現在パブリックコメントを実施中であり、住民意見がどこまで反映されるか注視している。
- 携帯電話基地局設置に関して、電磁波への不安を抱える住民も一定数存在し、住民参加を重視した条例運用が必要である。

【SNS 発信について】

- 町の広報の在り方について、Facebook の『神奈川県大磯町』という名称のページが公式なのか分かりにくい。
- 町公式アカウント体系の整理や、住民から見た分かりやすさの向上が必要。

【その他について】

- 鷹取山は、大磯の財産とも言える山。個人の持ち物と聞く。遊歩道が荒れているので予算をつけるか、地権者と話をして整備をすれば大磯の資源となる。
- 海岸のあり方について、町の執行部と議会でよく話し合い、大磯全体を考えた『大磯モデル』を構築してほしい。
- 中丸公園の不法投棄やごみの持ち出しに悩んでいる。防犯灯はついているが、公園の街灯がつかない状態で暗いことが要因と思う。早く直してほしい。
また、公園の周りの道が狭くて危険なので、土地の所有者が代替わりのときに交渉が進んでほしい。
- 大磯はすばらしい。新しい大磯より既にある魅力を生かすことが大切と思う。
- 町外で暮らす子どもたちに、帰っておいでと言える町にしたい。
- 国府地域は大磯地域に比べ後回しにされていると感じる。
- 最近は通学時の黄色い帽子を被らない子もいる。安全のためにも登下校時は帽子を被るようようお願いしたい。
- 消防庁舎について建て替えの場所は決まったか。

- 徳洲会病院は全国的に介護事業も展開していると聞く。大磯でも病院を改修、増築するそうだが、そこに介護事業は入るのか。他の地域で介護サービスを提供しているので、大磯でも是非実現してほしい。ニーズはある。
- 星槎学園との関係はどうなのか。町との交流はあるのか。
- 家の近所に星槎学園の寮があるが、地域の活動にも活発に参加してくれている。